

## ■ 委員長報告概要 ■

		令和 2 年 5 月 臨時会
		産業建設常任委員会
議 案 件 名	議案第 63 号 令和 2 年度山陽小野田市小型自動車競走事業特別会計補正予算(第 1 回)について	
概 要	<p>今回の補正は、令和元年度の決算見込みにおいて歳入が歳出に対して不足するため、令和 2 年度の歳入を繰り上げてこれに充用しようとするもので、歳入歳出予算総額にそれぞれ 12 億 3,000 万円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ 165 億 2,802 万 7,000 円とするものである。</p> <p>令和元年度の日本写真判定への包括的民間委託料は 4 億 1,334 万 2,000 円、市への収益保証は 4,849 万 8,000 円である。</p>	
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「新型コロナウイルス感染症による車券払戻期間の猶予の状況はどうか」との問いに「現在時効を中断している。再開は未定であるが、改めて案内する」との答弁。</li> <li>・ 「選手の交流による新型コロナウイルス感染症拡大の防止対策は」との問いに「選手の居住地を東西に分け、それぞれの地域でレースへの出場をあっせんする等をし、6 月から予定どおり行う」との答弁。</li> <li>・ 「売上げは順調に伸びているが、繰上充用額に昨年と大差がないのは」との問いに「スタンド改修の原資となる施設改善基金などの基金を 3,785 万 3,000 円増額していることによる。実質単年度収支は 6,859 万 4,000 円となり、数字的にはよいものが出ていると思う」との答弁。</li> <li>・ 「累積赤字を解消するのはいつ頃の予定か」との問いに「平成 30 年度に示した返済計画ではミッドナイトレースの売上げが更に伸びれば令和 14 年度頃としていたが、スタンド改修の費用も考慮すると令和 17 年度に解消する見込みである」との答弁。</li> </ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「収益保証の計算式はどうなっているか」との問いに「大まかに言えば、歳入から歳出を差し引いた残りを委託料と収益保証に分配するということである」との答弁。</li> <li>・ 「本場開催での損益分岐点はどのくらいか」との問いに「おおよそ 80 億円の売上げが分岐点と思っている」との答弁。</li> <li>・ 「駐車場についてはどうなっているか」との問いに「既に地権者と接触しているが、相手の意向、考えを十分踏まえて協議を進めたい」との答弁。</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>討 論</b></p>	<p>討論なし</p>
<p style="text-align: center;"><b>結 果</b></p>	<p>全員賛成で可決</p>

## ■委員長報告概要■

令和2年5月臨時会

新型コロナウイルス感染症対策  
特別委員会

### 議案件名

議案第62号 令和2年度山陽小野田市一般会計補正予算（第6回）について

### 概要

歳入歳出ともに全額新型コロナウイルス等感染症対策基金の設置に伴うもので、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、8月末までに開催する事業の中止と、9月以降の開催ではあるが準備の関係で中止を決定した事業について事業費の減額を行うとともに、不用となった財源の一部を新型コロナウイルス等感染症対策基金に積み立てるもの。減額された事業費は1,140万4,000でその内、一般財源は336万5,000円。

	行事名	削減額(千円)	
		総事業費	うち 一般財源
国際交流 等推進費	中学生海外派遣	3,225	125
文化振興 費	瀬崎明日香 ヴァイオリン演奏会	1,050	0
文化振興 費	ピアノマラソン大会	1,100	0
文化振興 費	市民文化祭	389	389
文化振興 費	ガラス体験教室	358	358
市民館費	市民館耐震改修記念事業	1,070	720
スポーツ 振興費	スポーツ教室	1,954	234
社会福祉 総務費	戦没者追悼式	323	323
高齢者 福祉費	はつらつシニアスポーツ大会 (小野田地区)	651	651
高齢者 福祉費	はつらつシニアスポーツ大会 (山陽地区)		
子育て総 合支援セ ンター費	ベビスマフェスタ	300	0
公害対策 費	環境展	65	65

	指導研究費	かがく博覧会	500	500
	歴史民俗資料館費	常設特設コーナー 「10分でわかる山陽小野田市の歴史」	419	0
	歴史民俗資料館費	企画展「山陽小野田のスポーツ史」		
	歴史民俗資料館費	スポーツ展関連講演会		
			11,404	3,365
			予算額(千円)	
		事業名	総事業費	うち一般財源
	財産管理費	山陽小野田市新型コロナウイルス等感染症対策基金利息	1	0
	新型コロナウイルス対策費	山陽小野田市新型コロナウイルス等感染症対策基金積立事業	3,365	3,365
			3,366	3,365
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>●すべてについてキャンセル料等は発生していない。</li> <li>●ヴァイオリン演奏会の財源はすべて入場料である。</li> <li>●市民館耐震改修記念事業は行わない。</li> <li>●ハロウィンパーティーは財源調整が済んでいないため、未削減。</li> <li>●共催イベントは調整が済んだものだけ削減（かがく博覧会、ベビスマフェスタ、スポーツ展関連講演会）。</li> <li>●各種団体主催諸行事に対する補助金は予算の出し方等もあるのでケースバイケースで対応する。</li> </ul>			
討 論	なし			
結 果	全員賛成で可決			

議 案 件 名	議案第64号 山陽小野田市新型コロナウイルス等感染症対策基金条例の制定について
概 要	新型コロナウイルス感染症の拡大により、経済活動、市民生活に大きな影響が出ている。これに対応するため、市内の事業者への経済支援、市民への生活支援など、実施していく必要がある。また、新たな感染症の発生を想定した事前の備えを講じておくことも必要であることから感染症対策に特化した基金を設置するもの。
論点又は質疑	●ふるさと納税にも対応していく。

によって明らかになった事項	●議会の要望を尊重して条例化した。 ●広報やホームページなどで情報発信する。
討 論	なし
結 果	全員賛成で可決